

令和6年度 第12回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和7年3月27日（木）13時30分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・本年度は脱炭素先行地域づくり事業が本格的に動き出し、色々な事業がほぼ計画通りに進んでいることに感謝を申し上げる。今年度末になって一気に色々な事業も動いており、EVバスとEVカー5台が納車になった。また太陽光パネルと蓄電池も今月多くの所に設置されており、中学校の方へも大型クレーン車が来て体育館の屋根にパネルを設置しているところである。
- ・来年度はマイクログリッド、小水力発電関係が本格的に動き出す予定で、事業費的には今年度より来年度の方が多くなっており、色々な事業を更に進めていかなければならないという状況である。そういった中において、皆さんにそれぞれ毎月検討協議をして頂き、脱炭素先行地域づくり事業が順調に進捗するよう願っている。令和7年度もしっかりこの事業を進めていきたいと思っているので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

【協議事項】

○（株）いくさかてらす電気小売事業に係る手続きの進捗状況等について

- ・電気小売事業に係る手続き及びスケジュール表により、電気小売り許可については3月11日に経済産業省の審査会で承認され、電力販売事業に関する手続きを調整していると説明があった。（本会議後、3月26日付で電気小売事業の登録がなされたとの通知があった。）
- ・小売業の開始に向け、料金体系について現況を考慮し慎重に協議していくようにとの意見があった。

○令和6年度脱炭素事業の実績について

- ・令和6年度に実施した事業について、PPA事業、民家への省エネ機器等導入補助、公共施設省エネ機器導入・LED化改修調査設計業務委託、公共施設へ

のペレットストーブ導入、民家断熱改修補助、公共施設への EV 充電器・充放電器導入、公用車の EV 化・カーシェアリング、村営バスの EV 化、やまなみ荘へのボイラー・チップ庫新設、生坂ダム小水力発電所新設調査設計、自営線マイクログリッド構築、デマンドレスポンス需給管理システム、いくさか「創造の森」オフグリッドハウス建築に係る設計の進捗状況について説明。

- ・それぞれの事業の実施内容について公開できるように資料を整えておくよう意見があった。
- ・数か所ある公共施設の省エネ化をどのように進めていくかについて質問があり、LED 化については実施する様に考えており、エアコンについては何処の施設を行うか今後検討していくと説明。

○令和 7 年度脱炭素事業の予定について

- ・令和 7 年度に計画している事業について、省エネ機器・木質バイオマスストーブの導入補助、公用車 EV カーシェアリング、既存住宅・古民家断熱改修補助、自営線マイクログリッド構築、公共施設への LED 照明・省エネ機器導入、生坂ダム小水力発電、木質バイオマス熱利用（やまなみ荘に設置した木質バイオマスボイラー）の内容について説明。

○その他

- ・PPA 事業の太陽光パネル、蓄電池等の設置工事の状況について説明があった。
- ・簡易水道事業の大原のポンプ場をマイクログリッド内に入れるよう意見があった。